



設立 20周年 特別号

飯田市歴史研究所は、平成15年12月2日の設立から20周年を迎えました。

設立当初の懸案であった旧飯田町と上飯田村の地域史は、テーマごとに読める『飯田・上飯田の歴史』として刊行し、現在も多くの方に読まれています。

また、当地域の主要な研究課題である満蒙開拓については、市民活動団体とともに体験者からの聴き取りを記録する地道な調査研究を重ねて、全国的に例を見ない研究成果を導き出すことができました。

このほかにも、地域に残された貴重な歴史資料をひも解いて得られた研究成果に基づいて、地域の歴史に親しんでもらう書籍や研究に活用できる報告書等を発刊公開するとともに、地域史研究集会や地域史講座、出前講座等により、市民に向けた教育普及事業を進めてきました。

また、市民研究員制度や飯田・下伊那の地域史研究における優れた作品や活動を表彰する飯田歴研賞の創設により、研究人材の養成や研究活動の支援にも取り組んできました。

設立20周年を契機に、地域に根を張った研究機関として、あらためて市民の教育、文化の向上発展と活力ある地域社会の創造に寄与するよう、さらなる活動の充実を図ってまいります。

飯田市歴史研究所



飯田市歴史研究所は地域とのつながりを大切に、地域の歴史について市民の皆さんや全国の研究者と連携しながら継続的な事業を展開しています。ここでは当研究所が行っている事業を紹介します。

歴研のお仕事

その1 調査研究事業

歴史的価値を持つ文書や記録を収集・保存し、専門的な調査を行い、様々なかたちで地域の皆さんに利活用いただくための事業です。

史料調査研究の巻

1. 現地

史料調査は現状記録という方法に基づいて行われています。これは史料が保管されている状態をそのまま記録しようとするものです。史料の保管状況をスケッチや写真で記録し、運び出します。



あーい、落ちるなよ

2. 調査

史料を調査します。その際、史料がどのような順番や状態で入っているかをビデオカメラ等で詳細に記録します。さながら遺跡の発掘調査によく似ています。

ふむふむ、なーるほど



3. 目録作成

史料の情報（年代や内容など）をデータ化します。近世～近代の文書史料はくずし字や変体仮名で書かれているものが多く、専門的知識が要求されます。

この字が読めないよう



4. 公開

最終的に皆さんに利用していただけるように公開します。「文書目録」といった書籍にしたり、研究所内の閲覧室で文書目録を閲覧いただけます。



文書目録



閲覧室 文書目録コーナー

行政文書

市役所で保存年限の過ぎた公文書のうち、歴史的に価値ある文書も重要な史料として当研究所で管理しています。

各地域の自治振興センターにある旧村の役場文書の調査と整理も行っています。



旧山本村役場文書整理作業

オーラルヒストリー調査の巻

オーラルヒストリー調査とは歴史研究のために関係者から直接話を聞き取り、記録としてまとめることです。歴史学は主に記された文字（文献）により研究されますが、それだけではわからない事をこの調査は明らかにしてくれます。

当研究所では発足当初よりオーラルヒストリーを重視してきました。特に満洲移民研究においては、体験者の「記憶を歴史にする」ことにより多くの成果を上げてきました。今後も個人の経験や家の文化、集落の歴史などといった文献には残らない歴史を数多く残していく所存です。



聞き手（奥の男性）は語り手（手前の女性）が話しやすいように対応します。



オーラルヒストリーは当研究所で刊行された書籍では最も多く、シリーズも多岐にわたります。

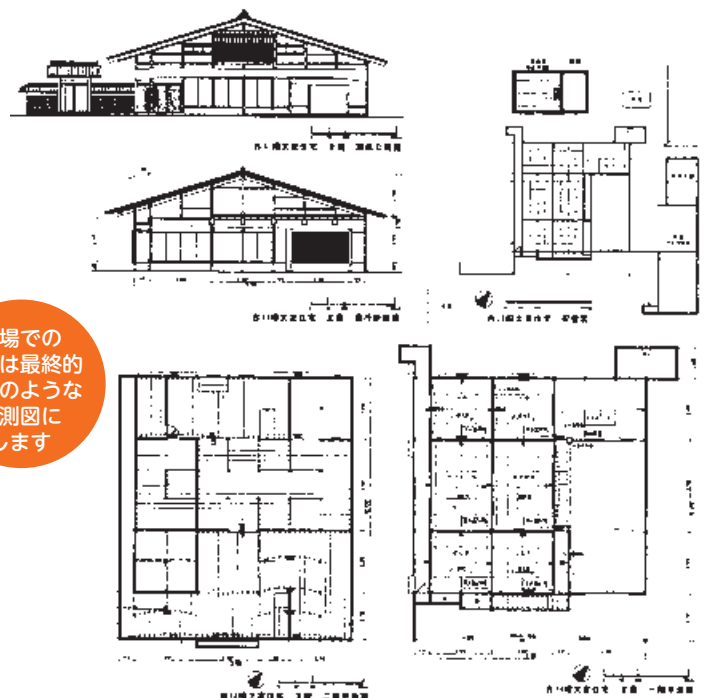
建築史調査研究の巻



通称「脇坂門」の調査



現代の地形データに明治期地番図を重ねたもの（座光寺地区）



現場での調査は最終的にこのような実測図にします

建築史を専門とする研究員により、本棟造の民家や農村舞台など、地域特有の歴史的建造物、あるいは街並みや集落の歴史的景観について実測調査、研究を重ねてきました。

最近は現在の地図データ上に昔の絵図や地図を重ね合わせるにより、歴史的景観構造を考察するなど、最新の情報技術を利用した研究も行っています。

その2

教育普及事業

調査研究事業で得られた成果を皆さんにお伝えする事業です。地域史研究集会や地域史講座など当研究所が企画して行う事業や、出前講座、学校の職場実習の受け入れ、地域団体との協働調査など、ご要望を受けて行う事業があります。また、市民研究員制度などによる後継者の育成にも取り組んでいます。

地域史研究集会

地域史研究集会は、研究者と市民の皆さんとが一つのテーマについて膝を突き合わせて考えていこうという目的で始まり、当研究所の重点事業となっています。



第20回研究集会(2023)の様子
飯田市役所会議室でオンライン併用で行われました

〈これまでの研究集会のテーマ〉

「語りつぐ飯田・下伊那の歴史」
「古島敏雄の人と学問」
「歴史のなかの町並みと建造物」
「伊那谷の古墳と古代の舍人軍団」
「伝統都市を比較する」
「地域と歩む教育の歴史」
「満洲移民」
など

飯田アカデミア

最前線で活躍する研究者が最新の研究成果を分かりやすく解説します。



講師に加藤陽子さんを迎えて「近代日本の政軍関係」について講演していただきました

地域史講座

地域の歴史を題材に、その地区で開催する講座です。



旧木沢小学校では猫の故高峰(たかね)校長も受講してくれました

その3

市誌編さん事業

研究論文などを掲載する年報、市内各地域の歴史を紹介する書籍、史料調査・オーラルヒストリー調査・建造物調査などの成果をまとめた報告書や史料集、こども向けのジュニア・ライブラリーなどいろいろな書籍を刊行しています。



年限的・内容限定的な市誌ではなく、地域の歴史研究の基礎となる史料集や親しみやすい内容の書籍を刊行しています



『飯田・上飯田の歴史』上・下では、写真や図をふんだんに使いながら、古代～現代の地域の歴史を明らかにしました

歴研ゼミナール・ワークショップ

ゼミ生と研究員による史料の読解や研究報告、現地調査など行っています。



近世史ゼミの様子



建築史ゼミでの現地見学

出前講座

公民館や史学会、学校などから依頼をいただき、地域の歴史についての講座などを行っています。ご要望がございましたら遠慮なくご相談ください！



飯田歌舞伎座について講演をしました
写真・チラシ提供 飯田信用金庫 地域サポート部



大平宿で囲炉裏を囲んで説明しました
(株)南信州観光公社より依頼

職場実習の受け入れ



高校生に史料の撮影を手伝ってもらいました

市社会教育機関との連携



美術博物館のトピック展示を開催したり、美博まつりに参加したりしました

歴史研究所の書籍

飯田市歴史研究所 年報



飯田市歴史研究所 年報 1

地域史研究事業の成果や研究集会の記録、飯田下伊那の研究論文などを収録。今年度は21号を発刊予定。

ジュニア・ライブラリー



ジュニア・ライブラリー2 水引のまち飯田

こどもたちにも読みやすいよう写真を多く掲載。シリーズとして3冊刊行

飯田・下伊那史料叢書 近世史料編・建造物編



飯田・下伊那史料叢書
近世史料編3
延宝二年
飯田御用覚書
古文書を活字資料として出版するシリーズ



飯田・下伊那史料叢書
建造物編2
農村舞台
飯田・下伊那地域の歴史的建築を図表を用いてわかりやすく解説するシリーズ

オーラルヒストリー



飯田市制施行 70周年記念出版

オーラルヒストリー1
いとなむはたらく
飯田のあゆみ
シリーズとして3冊刊行

史料で読む 飯田・下伊那の歴史



史料で読む
飯田・下伊那の歴史3
山里 南信濃の
あゆみとくらし
飯田・下伊那の各地域に残る史料を読み解き、その地域がたどった歴史を紹介するシリーズ

歴史研究所のあゆみ

2002年 2002年7月8日 News Letter 第1号発行

2002年8月 第1期中期計画スタート

2003年1月 飯田アカデミア開始

2003年8月 歴研ゼミ開始

2003年10月 飯田市地域史研究集会開始

2003年12月2日 飯田市歴史研究所オープン



飯田市歴史研究所オープン



貴重書庫完成

2004年6月 歴史的建造物調査開始

2005年3月 貴重書庫完成

2005年 古島敏雄没後10年
読書会 古島敏雄をよむ(6・7月)
第3回研究集会「古島敏雄の人と学問」(8月)
『古島敏雄著作集』復刊、『古島史学の現在』発刊



古島敏雄著作集

2006年4月 歴研ニュース リレーエッセイ連載開始

2006年8月 第4回研究集会
「歴史のなかの町並みと建造物」
参加者のべ400人!



第4回研究集会

2007年4月 第1回地域史講座開催

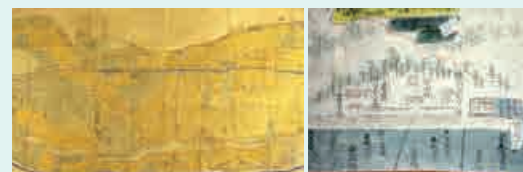
2007年12月7日 『満州移民—飯田下伊那からのメッセージ』
第13回平和・協同ジャーナリスト基金奨励賞
受賞



平和・協同ジャーナリスト基金奨励賞受賞

2008年4月 第2期中期計画スタート

2008年12月 新史料
「信濃国伊那郡上飯田村地引絵図」発見!
購入



信濃国伊那郡上飯田村地引絵図

2010年8月 第8回研究集会「城下町飯田」
友好都市シャルルヴィル史学交流



友好都市シャルルヴィル史学交流

2010年

2011年

2011年2月 「飯田市域の本棟造と養蚕建築の悉皆的調査研究」
第1回都市調査研究グランプリ受賞



第1回都市調査研究グランプリ受賞

2011年6月 第1回満洲移民ゼミ開催

2012年9月～2014年3月

『飯田・上飯田の歴史 上・下』
『描かれた上飯田—明治初期の
地引絵図をよむ—』 刊行



『飯田・上飯田の歴史』『描かれた上飯田』 刊行

2013年4月 第3期中期計画スタート

2014年7月 第1回歴史研究所協議会開催

2015年2月 文化庁文化芸術振興費補助事業
ワークショップ「伊那谷の人形芝居」



ワークショップ「伊那谷の人形芝居」

2017年4月 第4期中期計画スタート

2017年9月20日 歴史研究所仮移転



歴史研究所仮移転

2019年6月 歴研ニュース 100号刊行

2020年4月 新型コロナウイルス感染症のため
休所

2020年9月 新型コロナウイルス感染症のため
研究集会中止



第17回研究集会(2019年) 第18回研究集会(2021年)

2021年～ 歴史研究所主催事業
オンライン併用開始

2021年4月 第5期中期計画スタート

2021年9月 第18回研究集会 「暮らしのなかの景観」
オンラインのみ開催



第18回研究集会
オンラインのみ開催

2023年7月 飯田アカデミア 第100講座開催

2023年12月2日 飯田市歴史研究所 設立20周年



2023年

歴研へのご案内



電柱の案内看板
が目印です



※道が狭いので、車でお越しの際はご注意ください。

歴史研究所設立20周年ワークショップ

地域の歴史を未来へ引き継ぐ

— 飯田下伊那地域史研究の現在 —

開催日 2024年2月17日(土)

会場 飯田市勤労者福祉センター

歴史研究所はこの12月に設立20周年を迎えます。この間、多くの研究者や研究団体と協働しながら飯田下伊那の地域史研究に取り組んできました。

このワークショップでは、その成果と課題について、前近代史・近現代史・建築史・地域連携の立場から考えます。詳細は、次号の歴研ニュースや広報いいだ1月号をご覧ください。

『年報』第22号掲載の論文等の募集

来年度刊行(2024年秋予定)の『年報』第22号への投稿論文等を募集します

【ジャンルと標準枚数(400字詰め換算)】

・論文: 40~60枚 ・研究ノート: 20~50枚
・史料紹介: 10~30枚 ・調査報告: 20~40枚

【締切】

2024年2月29日(木) (必着) (5月末までに審査結果をお知らせします)

【投稿先】

〒395-0803 飯田市鼎下山538
飯田市歴史研究所 年報編集係

体裁や注意事項などは、これまでの年報をご参照ください

定例研究会

※聴講をご希望の方はお電話ください

▶近世大平の社会(仮)

報告者 羽田真也(歴史研究所研究員)

開催日 1月27日

時間 14:00~16:00

会場 歴史研究所 研修室

▶下伊那の広域景観(仮)

報告者 岩田会津(歴史研究所研究員)

開催日 2月3日

時間 14:00~16:00

会場 歴史研究所 研修室

歴研ゼミ&ワークショップ12月・1月の予定

会場:歴史研究所 研修室

受講生
募集中!!

近世史ゼミ

担当:羽田真也(研究員)

12月13日・27日/1月10日・24日
(第2・第4水曜日) 18:30~20:30

満洲移民研究ゼミ

担当:本島和人(調査研究員)
齊藤俊江(調査研究員)

第143回 12月2日/第144回 1月6日
(第1土曜日) 10:00~11:40

近現代史ゼミ

担当:田中雅孝(調査研究員)

12月23日/1月27日
(第4土曜日) 10:00~11:40

思想史ワークショップ

市民の皆さんが自主的に学び合う場

12月6日・20日/1月17日
(第1・第3水曜日) 19:00~21:00
※1月3日は休講となります



ゼミ・ワークショップの詳細・お申込みについては、歴史研究所までお問い合わせください。TEL: 0265-53-4670

開所時間:午前9時~午後5時 休所日:日曜日・月曜日・祝日・12月29日~1月3日
メール配信への切り替えをご希望の方は、E-mail: iihr@city.iida.nagano.jp まで